

こども
子供のインターネットバイブル
あんない
案内いたします

かね
お金もちと、
ひと
びんぼうな人



ぶん
文: Edward Hughes
え
絵: M. Maillot; Lazarus

ほんやくしゃ
翻訳者: Yuko Kajiki 監修者: Dan Ellrick
しゅつばんしゃ
出版社: M. Maillot; Sarah S.

60話の第44話

www.M1914.org

Bible for Children, PO Box 3, Winnipeg, MB R3C 2G1 Canada

まよ せ たいん う かせ はなし また まよ せ
許可: 他人に売らない限り このお話のコピー、又はプリントは、許可されています。

日本語

Japanese

イエスさまは、教会のリーダーたちが、神さまよりも、お金をたい
せつにしていることを、知っていらっしやいました。そこで、
ある二人の人はなしをしながら、おしえてくださいました。
どうしてお金だけあっても、しかたがないのでしょうか。
いくら、お金があっても、天国の神さまが
くださる命を、かうことはできないからですよ。



1

さて、
たいそうお金もちの人がいました。
きれいなふくを、
きていますね。きっと、
たかいことでしょう。
そのふくをきると、
まるで王さまのよう。



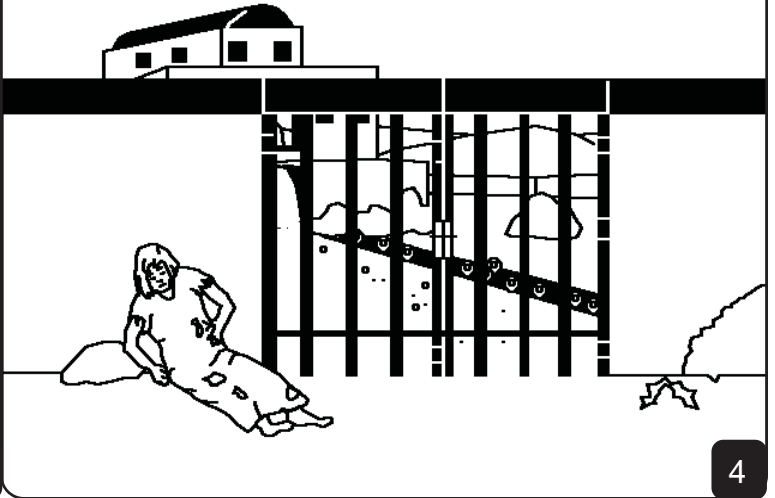
2

それにね、そのお金もちは、一日中、ムシヤムシヤ。
とてもよくたべますね。うわあ、おいしそう。ごちそうばかりです。
お金がたくさんあるので、なんでもすきなものを、たべることができます。
あさごはんも、ひるごはんも、
ばんごはんもね。
もちろん、おやつも。



3

さて、お金もちのうちの門のところに、まずしく、つかれきって、
おなかのすいたこじきが、いました。名まえは、ラザロ。



4

かわいそうなラザロ。からだじゅうが、
いたくていたくてたまりません。ラザロは、
びょうきだったのかもしれない。それとも、
ほかの人にいじめられて、たたかれたり、
きずつけられたりしたからかな？
もしかしたら、ミルクや、やさいや、
にくのような良いたべものを、
たべなかったから、からだじゅうが、
いたかったのかもしれない。



5

ラザロは、たべものが、
ほしくてほしくてたまりません。
もし、お金もちのテーブルから
おちるパンくずだけでもあれば、
どんなにうれしかったことでしょう。



6

ときどき、のら犬たちが、
そっとラザロのところに
やってきますよ。そして、
かわいそうで、
みじめなラザロに、
くんくんとはな
をこすりつけ、
キズぐちを、
なめてくれました。
でも、だれ一人お
ながべここのラ
ザロなんて、気にもか
けてくれません。



7

あるあさ、ラザロは、
もうおきあがることさえ、
できません。かわいそうに、
いつもおなかをすかせ、
だれも友だちがいな
かったこじきのラザロ。
とうとうこの世からい
なくなりました。ラザロは、
死んでしまったのです。



8

死んだとたん、ラザロは、
はじめてよろこびでいっぱいになりました。
イエスさまが、天使たちに、ラザロを、
アブラハムのところにつれていくよう言ってくださったからです。
神さまは、ラザロを、なぐさめてくださいましたよ。



9

さて、お金もちも、亡くなりました。いくらお金があっても、
いのちをたすけることは、できませんでした。死が、やってきたとき、
だれもそれを止めることは
できなかったのです。



10

お金もち、つちなか
お金もちは、土の中にうめられました。たぶん、
大きなおそうしきだったことでしょう。そして人々は、
こう言ってお金もちを、ほめたたえたことでしょう。
「かしこくて、なにもかも、
うまくいった人だったよ。」



11

けれども、ひとびと
けれども、いくら人々にほめられても、それは、なんのたすけにもなりません。
どうしてって、お金もちいま
どうしてって、お金もちは今、じごくにいるからです。



12

ここは、じごく。お金もち、な
ここは、じごく。お金もち、いま泣きさけんでいます。「わたしの父、
アブラハムよ、どうか、ラザロをわたしのところにおくってください。かれが、
ゆびのさきを、水の中に入れ、わたしの舌をひやしてくれるかもしれないから。

このひどい炎で、
くるしんでいる
のです。」



13

おも
「思いだしてごらん。ちじょう
「思いだしてごらん。地上にいるとき、
あなたは、すべてのものを、もっていた。
でも、ラザロは、なにひとつなかっただろう。」
アブラハムは、お金もちに言いました。「いま、
やっとラザロは、ほっとしているんだ。
そして、あなたは、くるしんでいる。
あなたとわたしたちのあいだには、ふかくて、
こえられないような大きいさけめがあるのだ。
それは、だれもわたることが、
できないんだよ。」



14

「それじゃ、おねがいです。ラザロを、わたしの5人のきょうだいのところにおくってください。そして、かれらにちゅういするように。このひどい苦しみのじごくに、くることのないように。」

お金もち、いっしょうけんめいおねがいました。



15

「あなたのきょうだいは、神さまのみことばを、しているだろう。」アブラハムは、こたえました。「もし、5人のきょうだいが聖書をしんじようとしないのなら、

ラザロが、死から生きかえったとしても、神さまをしんじようとしないだろう。」



16

イエスさまのお金もちとラザロのおはなしが、おしまいになったとき、教会のリーダーたちは、たぶん自分でかんがえたかもしれません。

「はて、わたしは、どうなのだろう。神さまを愛するより、お金のほうを愛しているのだろうか。」神さまのみことばを、いつも心にもっていなければ、どんなことがおこるのでしょうか。みんな、よくわかりましたね。



17

神さまを愛するより、お金のほうを愛しているのだろうか。」神さまのみことばを、いつも心にもっていなければ、どんなことがおこるのでしょうか。みんな、よくわかりましたね。



18

お金もちと、びんぼうな人

神さまの御ことば、聖書に記されているおはなしです。

ルカによる福音書 16 章

あなたの御ことばが開かれると、光が与えられます。

詩篇 119:130

神さまは、私たちがよくないことをしたことを、していらっやいます。神さまは、それを罪とよばれています。罪のむくい、死です。

神さまは、私たちをとても愛されたので、み子イエスさまをこの世におくってくださいました。そして、イエスさまが十字架で亡くされることによって、私たちの罪をとってくださったのです。イエスさまは、よみがえられ天国へもどられましたね！ですから、今、神さまはあなたの罪をゆるしてくださいます。

もし、あなたがあなたの罪からはなれたいなら、神さまにこう言ってください。愛する神さま、私は、イエスさまが私のために亡くなってくださり、よみがえって、今また生きていらっやることを信じます。どうか、私のこころの中に入り、罪をゆるしてください。それで、私は今、あたらしい命をいただくことができます。そして、いつまでも、あなたといっしょにいることができるのです。あなたの子として、生きることができますよう、たすけてください。アーメン

ヨハネによる福音書 3:16

まいにち、聖書をよみ、神さまと、おはなししましょう！